



商産業振興課 (☎231-1220)

# 下関の事業を受け継いでいく

「あのお店、閉店したんだ。好きだったのに」「えっ!? あの家、廃業するの? この部品、どうするんだよ?」ふるさとの味、唯一無二の技術。事業を受け継ぎ、未来へつなげていくことは、単に商品やサービスを守るだけではありません。そこで働く人の雇用や取引先とのつながりを維持し、地域経済やまちのにぎわい、文化を支える大切な取り組みです。

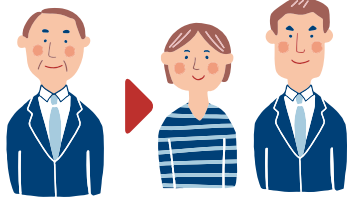
今月の特集では、市内での事業承継の状況や事例を紹介します。

※事業承継とは、会社の経営権や資産、技術・ノウハウなどを後継者に引き継ぎ、事業を継続させることを言います。

## 事業承継の方法

### 親族内承継

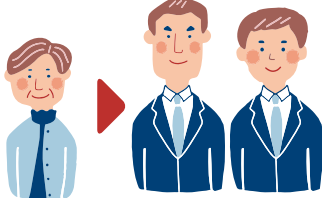
経営者の親族に承継



兄弟姉妹 子

### 従業員承継

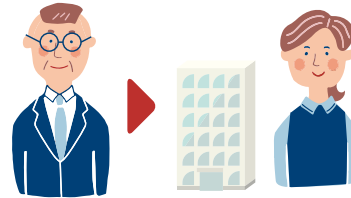
親族以外の従業員などに承継



幹部 従業員

### 第三者承継 (M & A)

他企業や創業希望者に承継



他企業 希望者

## 市内の状況

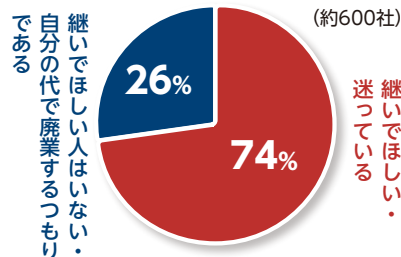
令和7年度に、市内企業3,000社を対象に事業承継に関するアンケート調査を実施し、約600社の企業に回答を頂きました。60歳以上の経営者の割合は全国平均52%を超える約55%であること、小規模な企業ほど事業承継における対策が進んでいない状況であること、「継いでほしい人がいない、自分の代で廃業予定」と回答した企業が26%に達することが判明しました。市はアンケートで得た事業者の声を踏まえながら、事業承継の課題解決に向けて取り組むことを考えています。



下関市 産業振興課  
村上 良太 主任主事

## 市内事業所へのアンケート

Q. あなたの事業所・お店についてどのようにお考えですか?

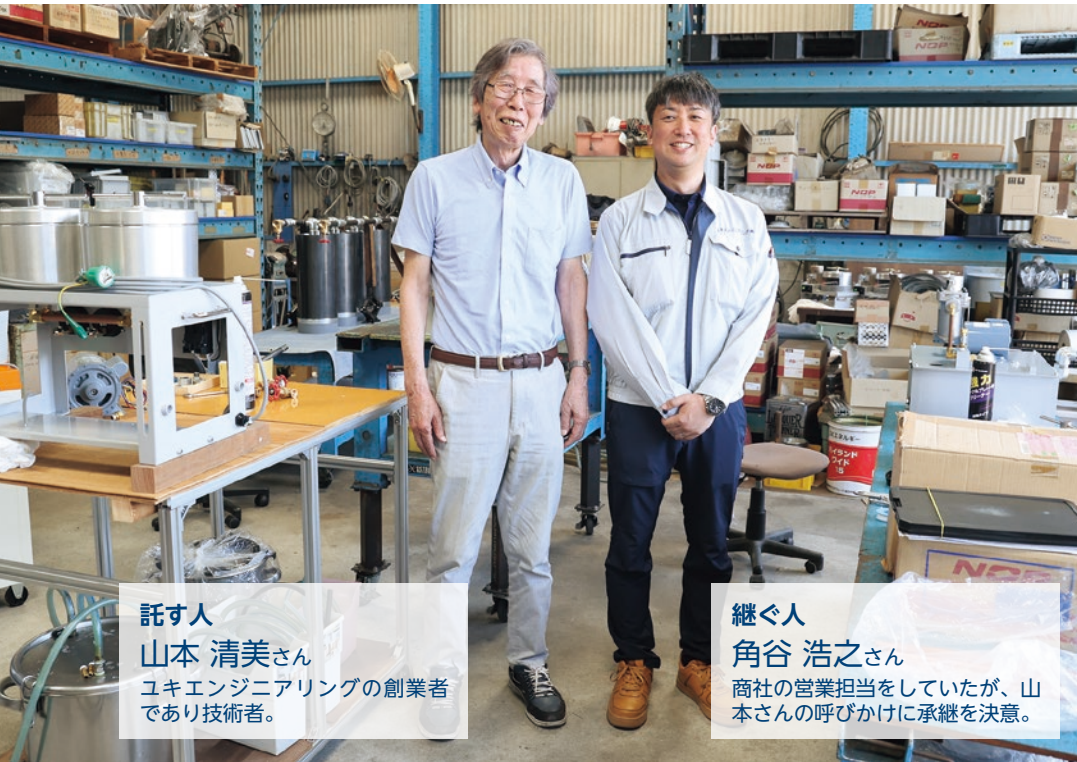


# LEGACY THE NEXT CASE 01

## 第三者承継

### ユキエンジニアリング

昭和54年創業。40年以上オイルクリーナーの製造・販売を主に行う。



#### 託す人

**山本 清美さん**  
ユキエンジニアリングの創業者であり技術者。

#### 継ぐ人

**角谷 浩之さん**  
商社の営業担当をしていたが、山本さんの呼びかけに承継を決意。

### 軽い気持ちでした返事から継ぐことに

**山本** 年齢的なこともあり10年ぐらい前から事業承継を考えるようになってきました。候補は何人かいましたし、M&Aも検討しましたが、決定には至りませんでした。10年以上前から我が社に商社の営業として来ていた角谷さんに、「若くて元気な、やる気のある友達とか、誰か会社を継いでくれそうな人がいないか」と電話で相談をしました。

**角谷** 軽い気持ちで「僕がいるじゃないですか」と返事すると「明日ちょっと寄ってくれ」と。次の日に会社に行くと、3期分の決算書を見ながら「うちは今こんな状況だがやってみるか」と言われました。「面白い」と思ったのですが、一旦家に持ち帰り、妻に相談すると「もう継ぐつもりじゃない」と言われ後押しされませんでした。

### 公的機関に相談することが大事

#### 相談で不安が解消

**角谷** 山口県事業承継・引継ぎ支援センター（以下センター）に事業承継計画書を作成してもらい託す側、継ぐ側の双方が何をしなければいけないかはつきりしました。また、センターに紹介してもらった中小企業診断士に相談することにより、徐々に不安が解消されていきました。

#### 事業承継を考えている方へメッセージ

**山本** 公的機関など第三者も交え、事業の良否について

て腹を割って話し、双方納得の上で継いでもらえる、継がせてもらえるの「相思相愛」が理想です。

**角谷** センターから紹介してもらった経営者塾で、マネジメントの基礎を学ぶことができました。令和8年8月から経営者が私に代わりますが、引き継いだからといって、終わりではありません。会社の80周年を迎えられるように、これからも長く続く会社となるよう頑張っていきたいです。

主力製品である工業用油リサイクル装置（オイルクリーナー）



#### CASE 01 事業承継の流れ

年齢的な理由から事業承継を検討

山本さんと角谷さんが承継に合意

センターへ相談

事業承継計画書を作成

令和6年2月、角谷さんが入社

令和8年8月、経営者が角谷さんへ交代予定

# LEGACY THE NEXT CASE 02

## 第三者承継

### 煌~KIRAMEKI~

平成27年創業。就労継続支援A型と就労移行支援を行う障害福祉サービス事業所。



#### 託す人

田口 直樹さん

学生時代に福祉を学んだ経験を生かし、父と共に創業。

#### 継ぐ人

永島 謙宗さん

永島ホールディングス代表取締役。田口さんの空手の師匠。

#### きっかけは

田口 障害福祉サービス事業所を運営していますが、従業員の確保が困難になったことと報酬改定による収益環境が変化したことから、事業承継を模索しました。

#### 継ぐ人が決まるまで

田口 事業所の利用者と従業員のために事業の継続を第一に考え、メインバンクを通じてセンターへ連絡をしました。センターの担当者から事業承継についてのアドバイスをもらい、市が月に2回開いている相談会へ参加をしながら、受け継いでくれる人を探しました。永島 同じ流派の空手のつながりで田口さんが事業承継を考えていることを聞き、初めは興味を持つ知人を紹介しようかと提案しました。しかし、熱心な説明と詳しい資料により、自分でもできるのではないかと思います。そこから

## 空手道場における 師弟関係の絆 での承継



自分でも障害福祉サービスについて勉強し、不安はありませんでしたが田口さんとなら一緒にやっていけると思い、事業を受け継ぐことを決めました。

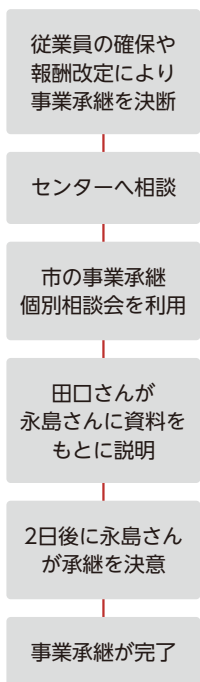
#### 事業承継の決め手

田口 市で事業承継個別相談会が始まり、1人目の相談者となりました。相談会でセンターや市の担当者や連携し、公的機関の助言を得られたことが大きかったです。従業員や利用者へのサービスが変わらないこと

を目指していたので、経営は譲りましたが、私も変わらず事業所の運営に携わることができて、安心していきます。

永島 従業員や利用者や大にするとという考え方が田口さんと一致したこと、センターの協力により事業承継についての資料がまとまったことが決断につながったと思います。

#### CASE 02 事業承継の流れ



# LEGACY THE NEXT CASE 03

## 従業員承継

### エヌ・アルファ

平成7年創業。冠婚葬祭での司会・アテンド・演奏などを行う。



#### 託す人

二宮 多美枝さん

エヌ・アルファの創業者。  
経営者であり司会も行っていた。

#### 継ぐ人

平田 由希子さん

司会と演奏の両方を担当する。  
会社の歴史を守るため決意。

### 事業承継の経緯は

**二宮** お客さまの年齢が自分より若くなってきた、感性が通用しなくなってきた、いるのではないかと思うようになってきました。30代から40代の人が中心となって会社をやった方がいいのではないかと。従業員の中でも平田さんは、私にないものをたくさん持っていると感じていました。一人ひとりの良さを生かし、みんなのために働くことができる人なので、これからの会社を引っ張っていくのではないかと考えました。

**平田** 3年ぐらい前に社長から、会社を継いでみないかと言われました。会社を畳んで新しく事業を始めてもいいとも言われました。これまでの歴史を積み上げた会社を簡単に手放してしまふことは、もったいないと思い継ぐことを決断しました。

### 承継のための準備

**二宮** 合意後、具体的にどういうことをしないとけないのかセンターに相談をしました。保証協会や中小



### 事業承継計画書 で見える化

企業診断士の支援を受けながら、事業承継計画書を作成していききました。計画書を作ることで、お互いが分かりやすく、いつまで何をしないといけないか、いろいろなことがはっきりしました。

**平田** 経営者になるということ、初めは全部自分でしなければいけないと思っていましたが、専門家を頼ればいいんだということが分かり気持ちが楽になりました。また、誰でも経営できるような基盤を社長が作ってくれていたんだと感じました。公的機関などに早めに相談をして、しっかりとした計画を立て、さまざまなお知らせから情報を得て、使える支援を活用していく事が大事だと思います。

### CASE 03 事業承継の流れ

事業承継を検討

従業員の  
平田さんへ承継の  
意思確認

平田さんが承継を  
決意

センターへ相談

事業承継計画書を  
作成

令和8年7月、  
経営者が平田さん  
へ交代

# LEGACY THE NEXT CASE 04

## 第三者承継

### 一龍軒

昭和41年創業。下関で屈指の老舗ラーメン店として知られている。



託す人

山口 昌則さん[右]

10年ほど前に、創業者の父よりラーメン店を受け継いだ。

継ぐ人

未定

(募集中)

### 事業承継を考えたきっかけは

山口 唐戸商店街の理事長をしている関係で市の産業振興課とつながりがあり、事業承継についての話を聞いてから関心を持つようになりました。私の年齢が50代で、まだ10年ぐらいは続けるつもりです。事業承継は必ずやることなので、早く準備をしておいた方がいいということから、少しずつセンターに相談するようになりました。

### お店継続への思い

山口 父の代から60年やっているラーメン店で、下関でこんなに長く続いているラーメン店は他にないと思います。25年前にこの仕事を始め、10年ぐらいい前に父からラーメン店を引き継いで、妻とお店を切り盛りしています。歴史のあるこのラーメン店の味を残さないともったいない。子どもの頃にうちのラーメンを食べ

### CASE 04 事業承継の流れ

産業振興課から事業承継について聞く

市の事業承継個別相談会に参加

センターへ相談

後継者を募集中

### 自家製麺と豚骨&鶏ガラスープのラーメン



て育ち、下関を出た後も取り寄せて食べてくれるお客さまが全国にたくさんいます。過去に、入院中ずっと食べたかったと退院の日に病院から直接お店に食べに来た方もいました。そうい

### うちのラーメンが好きな人に継いでほしい

ったうちのラーメンへのお客さまの思いに応えたいと思っています。

### どんな方に引き継いでもらいたいですか

山口 ラーメン店は「きつい、汚い、危険」な仕事ですが、しっかりとやればその社会的使命や幸福感を味わえると思います。必要なのは「愛、体力、忍耐力」です。継いでくれる方がいないと店がなくなります。うちのラーメンの味が好きなお客さまがこの店のラーメンを受け継ぎたいと思ってくれたらうれしいです。まずは、お店で働くことから始めてもらおうと考えています。受け継いで欲しいものは、味はもちろんですが、いろんなお客さまとのつながりです。



山口県事業承継・引継ぎ支援センター  
後藤 正典 サブマネージャー

### 事業承継の傾向とセンターの紹介

山口県内の中小企業の多くは後継者不在の問題を抱えています。後継者不在率は改善の傾向が見られるものの、県内に本社を置く企業の経営者の平均年齢は60.9歳など、経営者の高齢化が進んでおり、休廃業の増加が懸念され、早期の支援が必要となっている状況です。「事業承継・引継ぎ支援センター」は、事業承継の課題を抱える中小企業・小規模事業者を支援するために国が各都道府県に設置している公的な相談窓口です。

### 事業承継の疑問はまず相談から

山口県では、オール山口での事業承継支援を行っており、センターを中心として、行政、金融機関、商工団体、士業団体等で事業承継支援ネットワークを構築しています。事業承継は、どの経営者にも必ず訪れる大きなイベントです。事業承継について具体的に決まっている必要はありません。何をどのように進めるのかなど、事業承継について気に掛かることがあれば、何でも構いませんので、まず身近な公的機関に気軽に相談し、事業承継の一步を踏み出してください。

### こんなお悩みはありませんか？

- ✓ 後継者がいない
- ✓ 親族や従業員に引き継ぎたいが不安
- ✓ 自社を他の企業に譲りたいがどうすれば？
- ✓ 承継の進め方がわからない

相談無料      秘密厳守      公的機関

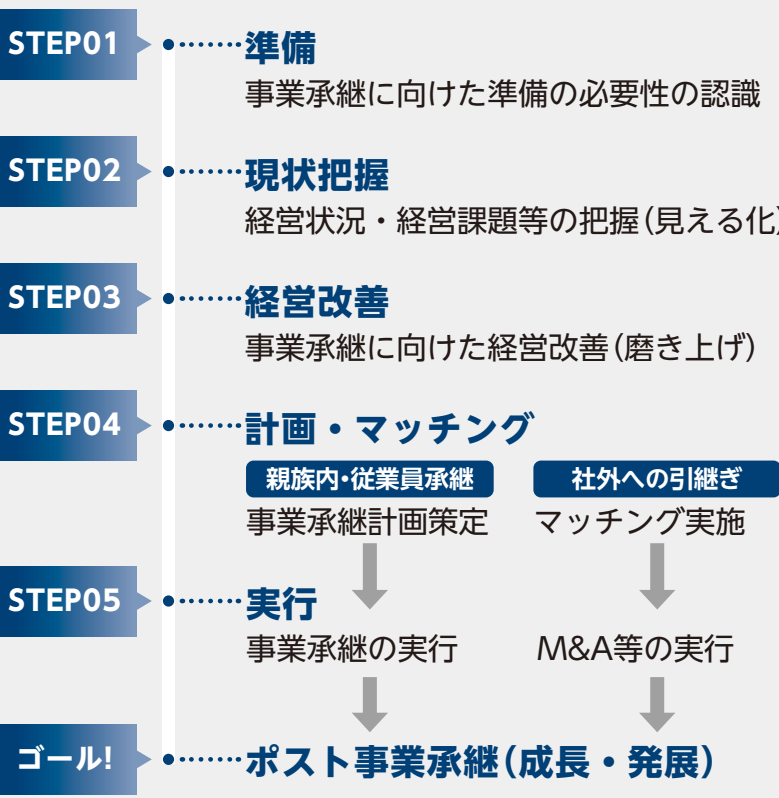
ご相談は法人・個人事業主を問いません。まずは、お気軽にお問い合わせください。



公益財団法人やまぐち産業振興財団山口県事業承継・引継ぎ支援センター  
(☎083-902-6977)



### 事業承継は5つのステップで進みます



### 事業承継個別相談会

園産業振興課 (☎231-1220)

下関市では、後継者確保などの人材課題の解決に向け、「下関の人事部」の構築に取り組んでいます。その一環として、親族内承継や従業員承継、第三者承継(M&A)など、中小企業・個人事業主の事業承継に関する個別相談会をセンターと連携して開催しています。「子どもや従業員に継いでほしいが進め方が分からない」「後継者がいないが事業は残したい」「譲渡できるのか知りたい」など、どんな小さな不安でも構いません。専門家が個室でお話を伺い、状況整理から具体的な進め方まで一緒に考えます。まずはお気軽にご相談ください。

- 相談日**  
毎月第2月曜日、第4水曜日(祝日を除く)  
午前10時、午後1時、3時
- 場所**  
下関商工会館1階会議室
- 申込**  
電話か市HPの申込みフォームで予約してください。

